

▼オラデオカプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ベロトラルスタット塩酸塩 Berotralstat Hydrochloride 【分類】 遺伝性血管性浮腫発作抑制剤 [血漿カリクレイン阻害剤]

【単位】 ▼150mg/Cap

【常用量】 150mg を 1 日 1 回

【用法】

【透析患者への投与方法】 検討されていない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 おそらく減量の必要はない (1)

【特徴】 血漿カリクレイン阻害剤。カリクレインによって生成されるブラジキニンの産生を阻害。遺伝性血管性浮腫患者における過剰なブラジキニン生成を制御する目的に投与。

【主な副作用・毒性】 QT 延長, 消化器症状, 肝機能障害, 発疹

【安全性に関する情報】 QT 延長のリスク [K チャンネル, Na チャンネル, Ca チャンネルの遮断作用を有する] (1)

【F】

【tmax】 空腹時 2hr, 食後 5hr (1)

【代謝】 CYP2D6, CYP3A4 で代謝 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 2.79% [経口, 120hr まで] (1)

【t1/2】

【蛋白結合率】 99% (1)

【Vd】

【MW】 635.48 [塩酸塩]

【透析性】

【O/W 係数】

【相互作用】 P-gp, BCRP の基質で, P-gp, CYP2D6, CYP3A4 を阻害 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20230316

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。